

ティラノサウルスの立体彫刻作品およびデッサン画

奥田萌衣 (中学一年生)

はじめに

私は小さい頃から恐竜が好きで、小学5年生の時には丹波竜とその発掘現場の地形などを 自由研究のテーマにしました。

6年生の夏休みに、丹波市山南町の「ちーたんの館」で開催された造形のワークショップに参加して、本格的な立体作品が作りたくなりました。

製作は、彫刻家の祖父に教えてもらいながら、夏休みの大半を費やしました。

がんばって作った作品を、多くの人に見てもらいたくて、共生のひろばに参加しました。



彫刻作品



デッサン画

方法

製作の工程を大まかに分けると、次のとおりです。

デッサン→骨組み→粘土での原型作り→石膏取り→樹脂で型取り→割り出し→着色・仕上げ

詳しくは、パネル展示の写真をご覧ください。





結果と考察

作ったけれど、発表する場がなくて、しばらく家に飾ったままになっていました。共生のひろばに参加して、多くの方々に実際に間近に見ていただけたら、感想を聞けたりできて、うれしかったです。

